





# 大学入試に新テスト導入

## 活用力、主体性を評価 中教審、抜本改革を答申

〔共同〕中教審（安西祐一郎会長）は22日、大学入試センター試験を衣替えし、知識の活用力をみる「大学入学者学力評価テスト」を導入する大学入試改革案を下村博文文部科学相に答申した。各大学の個別試験はペーパーテストの点数だけではなく、小論文や面接などを活用して多面的に選抜するよう求めた。



中教審の安西祐一郎会長（右）から「大学入試希望者学力評価テスト」を導入する大学入試改革案の答申を受け取る下村文科相

度設計や問題作成に入

り、複数回実施。教科の枠

組みを超えた（合科教・

科目型）「総合型」の問

題も出題することで、知

識を活用して自ら課題を

発見し解決する力をみ

る。記述式の解答を導入

し、英語は英検やTOEFLなど

の外部試験の活

用も検討。成績は点数で

なく段階別に示す。

受験生は複数受験が可能

で、成績の良かったもの

を採用することができ

る。

16年度中に新たな出

題方式を明らかにし、1

7年度にプレテストを実

施したい意向だ。

各省は年明けにも専門家会

議を設置し、具体的な制

度化も答申。1人の校長

の下で義務教育9年間の

カリキュラムを弾力的に

運用できる「小中一貫教

育学校」と、それぞれに

校長と教職員がいる独立

リカリキュラムが「偉大なり」と叫び

る。うち2人は重

ねた。うち2人は重

ねた。

（アラード・アケバル）神

は「偉大なり」と叫びな

がら通行人を次々と負

わせた。うち2人は重

ねた。

（アラード・アケバル）神









